



日本西アジア考古学会



古代オリエント博物館 主催

2020

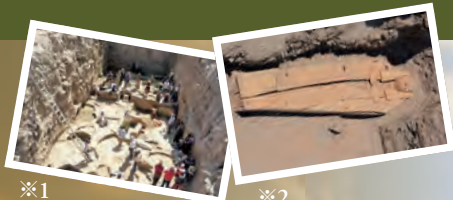
2/24
[月・祝日]

会場

池袋サンシャインシティ
文化会館ビル
古代オリエント博物館
(ギャラリー・トーク)

▶ 10:00～12:00
講演(途中休憩あり)
▶ 12:00～13:00頃
学生対象の茶話会
(学校教育関係者も出席可)

西アジア考古学 トッランナーズセミナー



※1

※2

日本西アジア考古学会と
古代オリエント博物館は、
西アジア考古学の魅力を一般の方、
また中学生や高校生、大学生などの
若い世代に伝えるため、
研究の第一線で活躍する
考古学者との交流の場として
「トッランナーズセミナー」を開催しています。

第4回目となる今回は、
「ヒッタイトの鉄」研究などで
知られる増淵麻里耶先生と、
長年、古代エジプトの葬制を
研究されている和田浩一郎先生を講師にお招きし、
ご自身の研究また研究の歩みに関して、
お話しいただきます。

講演後には、参加者を対象に講師の
お二人を囲んだ茶話会を予定しています。

※2



『出土製品からみるヒッタイト 帝国崩壊後のアナトリアの姿』

増淵 麻里耶

京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科
専任講師

『結びの護符と葦の棺 —知られざる古代エジプトの世界—』

和田 浩一郎

國學院大学・兼任講師
NPO法人文化遺産の世界・編集員

1979年東京生まれ。英国 University College London 博士課程修了。PhD。2002年よりトルコ共和国カマン・カレホックの発掘調査に参加し、考古遺物の観察と理化学分析に基づき、ヒッタイト帝国の本拠地中央アナトリアにおける後期青銅器時代から中期鉄器時代にかけての製鉄技術の変化と社会的背景の関連性を追う。また、文化財科学の立場から、トルコ、エジプト、タイ、ミャンマー、ネパール等の文化遺産保護事業にも従事する。

1968年青森県生まれ。イギリス・スウォンジー大学修士課程、國學院大学博士課程修了。博士(歴史学)。
1989年よりエジプトの考古学調査に参加し、ルクソール西岸、サッカラ、ダハシュールなどおもに墳墓の発掘を経験する。現在は中部エジプト・アクリス遺跡の調査メンバーとして、都市の信仰と死をテーマにした研究を行っている。著書に『古代エジプトの埋葬習慣』(ポプラ社)、『てのひら博物館 古代エジプト』(日本語版監修、東京美術)などがある。

事前申込制 | 参加費無料

定員 先着130名 ※定員になり次第申込を締め切ります 申込締切日 2020年2月21日(金)

申込先・お問合せ 日本西アジア考古学会事務局 MAIL: office@jswaa.org FAX: 029-853-4432

申込方法 お申込みの際には、●氏名 ●連絡先(メールアドレスかFax) ●学年(学生の場合のみ) ●茶話会欠(学生・学校教育機関関係者のみ出席可)をお知らせください。※お電話でのお申込み・お問合せは受け付けていません。

詳しくは日本西アジア考古学会ウェブサイト <http://jswaa.org> をご覧ください

※1 ©(公益)中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所 ※2 アクリス調査団

来たれ学生諸君!
未来の考古学者を目指す君、
歴史好きの君。
歴史が苦手な方もぜひ!
大人も参加できます。

参加学生全員に、
もれなくプレゼント!

※学生証をご持参ください。

※学校教育関係者で、教材としての活用を希望される方は、お申込みの際にお知らせください。

